第 2016-51 号

恵みと真理のニュース

2016 年 12 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 神様は肝臓癌4期、重い病気を治療してくださいました。与えてくださった健康を信仰で良く管理しながら主が来られる日まで心を尽くして主のため働きます

ハレルヤ！神様の恵みで文章を通して証をすること感謝します。

私は60代半ばの1男2女の子供がいる家長として二人の娘が結婚して何も問題と心配がなく長老で奉仕して、妻は勧士でイルサン聖殿で当会長牧師の説教と祈りを通して恵みの中で生きていました。また心を尽くして聖徒を仕えていました。

そうするうちに2015年11月初め、健康検診を受けるため様々な検査を受けた結果で肝臓癌の疑いがあるから大きい病院で精密検査を受けてみなさいと言われました。健康には自信があった私だったの青天の霹靂のような話を聞いて私の心に悩みでいっぱいでした。

区域の聖徒にも祈りを頼みました。家族とも話し合って祈ることを願ってイルサンにある国立癌センターに行って精密検査を受けました。組織検査と各種精密検査が終わった後、担当医師は怖い表情で"肝臓がん4期"と驚くな結果を淡々と伝えてくれました。どうして私にこんな事が起こったのか。すぐ受け入れるのはやさしくなかったです。その瞬間家族と親戚、信仰の家族の顔が思い出しました。しかし、すぐ、神様がくださる平安が私のこころを与えてくださいました。

私は急に来た病気にどんな神様の御心があると思っていると切に神様を仰ぎ祈りました。生きると伝道であり、死ぬと天国だと思って祈りました。私に命をくださった方も神様であり、私の 生命を収める方も神様であることを確実に信じ祈りました。

当会長のチョ牧師に電話をして祈りを頼みました。牧師は畏れなくて大胆な心を持って神様に祈るように聖霊様の導きを信じ求めるように頼んで治癒のため切に祈ってくださいました。すると、神様がくださる慰めと平安が望んで治療に対する信仰と希望で充満になりました。そして、神様の恵みを心深く感じました。

癌センターで入院して治療方法を探して肝臓移植の手術が良いと言われ、11月の中、娘と共に13時間もなるとても難しい移植手術を受けました。神様の恵みでよくできました。そして、無菌室でいって急速に回復をして12日ぶりに退院しました。今は定期的に検診を受けて病気の前よりもっと健康な姿で生活をすることが出来ました。急に来た瞬間に危ない状況で私の心に平安を与えてくださり、大胆にしてくださった神様、治療の権能を与えてくださる神様に感謝します。また、落胆して苦しんでいた私に希望の御言葉で勇気をくださって治療と回復のため祈って下った当会長のチョ牧師に感謝します。私の病気のため祈ってくださった生徒にも感謝します。

神様が与えてくださった信仰でよく管理して主がくださるその日までもっと真面目で忠誠して主の教会に仕えることを決心します。すべての栄光を神様に捧げます。

［信仰コラム］ 恵みの上に恵み

"わたしたちすべての者は、その満ち満ちているものの中から受けて、めぐみにめぐみを加えられた。"（ヨハネによる福音書）

聖徒において信仰の深さは自分が知って経験する神様の恵みの大きさに比例します。神様の恵みが何であるか知らずに恵みに対する感謝がない人は誠なキリスト人だと言えません。

まず、恵みが何であるかを調べてみましょう。

第一に、一般的な恵みがあります。私達は空気を呼吸して、水を飲み、日光を浴びて、畑と野原で生えた植物とその実を食べます。そして親の助けだけではなく一生の間に他人の助けを多く受けます。"自然や他人から受けるありがたい恵沢"が恵みです。このような恵みの根本出所は聖書に啓示された神様です。神様が天地万物と自然法則を作られたからです。このような神様の恵みを受けなくて生きていくことができる人は一人もいません。

第二、神霊な恵みがあります。神様が与えてくださる神霊な恵みはキリストイエスにより、その中でも最も大きな比重を占めることが救いの恵みであります。救いはイエスキリストの成肉身と贖いの苦難と死、そして復活によります。救いという器に入っているプレゼントはその貴さと数字を言葉で表現し難いです。この救いの恵みを知らずに生きることは悲劇です。色々な人々が心を開いて福音を受け入れます。老若男女、人種、身分の如何を問わず多様な階層の人々がイエスキリストに出てきます。これは神様の恵みによることであります。

私達がこの世に生きる間に信仰生活を良くすることができるように神様が与えてくださる神霊な恵みがたくさんあります。一、聖霊の恵みを与えてくださいます。（コリントの信徒への手紙一 12:8～10）（ローマ書 12：6～8）二、"愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制"という聖霊の実を与えてください ます。三、神様のお言葉を読んで、聞く時に悟るように行ってくださいます。四、イエス様を愛する心が炎と同じく上がるよう行ってくださいます。五、主に仕えて奉仕しようとする心が懇切になるように行ってくださいます。六、弱いが強くしてくださいます。七、お祈りの応答をしてくださいます。

次は、恵みの上に恵みを受ける道について調べてみます。

第一に、"わたしたちすべての者は、その満ち満ちているものの中から受けて、めぐみにめぐみを加えられた。"としました。神様の恵みはとても豊かであるので私達が恵みを受ける準備ができているといくらでも与えてくださいます。全世界の人々が持っても枯渇されません。主の充満から私達がいかに受けても主の充満は変わりがありません。従って、絶えずに供給される"恵みの上に恵み"を受けることができます。

第二、主神様の恵みはいくらでも絶えずに供給されるが私達が"恵みの上に恵み"を受けるためにはそれに合う態度を取るべきです。神様の恵みは上から下に流れる水のようで恵みを受けるためには低くならなければなりません。（ヤコボ書 4:6）また、神様の恵みは光のようです。光はカーテンを開けた窓を通じて入ります。従って、恵みを受けるためには心を開けるべきです。心を開けるためにまず、悔い改めの口、賛美の口、お祈りの口を開けるべきで信じることを口を開けて是認すべきです。また、神様の恵みは電流のようです。12 年間も血友病を患った女性が大勢の人々の中を通り決死的に進んでイエス様の服に手を当てたらまるで電流が電線を通じて流れるように主の能力が女性に入りました。電流は絶縁物質なので防ぐと流れることができません。従って、恵みの流れを絶縁させる要素を除去すべきです。貪欲、恨みと不評、我執、偏見という絶縁要素を捨てるべきです。自分の教派の教理や伝統を聖書のお言葉より重んじる偏見のため聖霊の恵みを体験できない信者がいくらかいます。

第三、恵みの上に恵みを受けるためには恵みを渇望すべきです。鹿が小川の水を慕うように渇望する心は恵みがよく流れ入る通路になります。

第四、既に受けた恵みによって感謝すべきです。神様は恵みを受けたことを感謝する聖徒に恵みを加えてくださいます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

御使が伝えてくれたメッセージ

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

イエスキリストの誕生と係ったお話は新約聖書のマタイによる福音書とルカによる福音書に記録されています。 その記録に登場する人物がたくさんいます。 彼らの活動と役目と体験したことをよく見れば奇妙で驚くべきです。 まことに感動的でありがたいです。 彼らの中には御使から直接メッセージを受けた人々がいます。 彼らが誰でそのメッセージの内容が何やらよく見ます。

第一、ガブリエル御使がサガリャに伝えてくれたメッセージです。

サガリャは大祭司長アロンの子孫であったが老年に至るように子を持つことができなかったです。 祭司サガリャが順番によって聖殿で職務を遂行する時でした。 彼が焚香する間に外では多くの人々が集まって祈祷を差し上げていました。 この時御使がサガリャに現われて香壇の右側に立ちました。 そして彼に言うのを“ サガリャよ、恐れるな。神様があなたの懇求をきいた。あなたの妻エルリサベッがあなたに息子を生んでくれるはずであるから、彼の名前をヨハネと言いなさい。” しました。 そしてこの息子は母胎から聖霊で充満するはずで神様に大きく使いを受けると言いました。 神様を遠く離れ去ったイスラエル子孫をたくさん帰って来させて神様のために道を予備すると言いました。 そして御使が言うことに “御使が答えて言った、「わたしは神のみまえに立つガブリエルであって、この喜ばしい知らせをあなたに語り伝えるために、つかわされたものである。”(ルカによる福音書 1:19) としました。 ガブリエル御使が伝えてくれた ‘この良い消息’が洗礼ヨハネの生まれと使役を通じてそのまま行われました。 洗礼ヨハネが使役を始めて民に悔い改めを促してヨダン川で洗礼を与えたら幾多の人が悔い改めて洗礼を受けました。 洗礼ヨハネが自分に出て来るイエス様を見て言うのを “その翌日、ヨハネはイエスが自分の方にこられるのを見て言った、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。 『わたしのあとに来るかたは、わたしよりもすぐれたかたである。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この人のことである。 わたしはこのかたを知らなかった。しかし、このかたがイスラエルに現れてくださるそのことのために、わたしはきて、水でバプテスマを授けているのである」。 ヨハネはまたあかしをして言った、「わたしは、御霊がはとのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。 わたしはこの人を知らなかった。しかし、水でバプテスマを授けるようにと、わたしをおつかわしになったそのかたが、わたしに言われた、『ある人の上に、御霊が下ってとどまるのを見たら、その人こそは、御霊によってバプテスマを授けるかたである』。 わたしはそれを見たので、このかたこそ神の子であると、あかしをしたのである」。”(ヨハネによる福音書 1:29～34) としました。 洗礼ヨハネはイエス様のために先駆者役目をして人々に “世の罪を取り除く神の小羊 イエス様” “聖霊をくださって、世の中を審判なさるイエス様”に対して証言しました。

第二、ガブリエル御使がマリアに伝えてくれたメッセージです。

ガブリエル御使が神様の送られてタビデの子孫ヨセフと縁定めした娘マリアに現われました。 “すると御使が言った、「恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているのです。 見よ、あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。 彼は大いなる者となり、いと高き者の子と、となえられるでしょう。そして、主なる神は彼に父ダビデの王座をお与えになり、彼はとこしえにヤコブの家を支配し、その支配は限りなく続くでしょう」”(ルカによる福音書 1:30～33). この言葉をきいてマリアが “この身は娘です。どのようにそんな事があることができますか?” したら御使がこんなに答えました。 “御使が答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。 あなたの親族エリサベツも老年ながら子を宿しています。不妊の女といわれていたのに、はや六か月になっています。 神には、なんでもできないことはありません」” (ルカによる福音書 1:35～37). マリアは言うのを “わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように” しました。

第三、御使がヨセフに伝えてくれたメッセージです。

マリアと縁定めしたヨセフが大きい悩みに陥りました。 何故ならばマリアが縁定めした状態でまだ結婚しなかったが妊娠した事実が現われたからです。 ヨセフがその妻マリア連れて来るのを恐ろしがって悩んでいる時に神様の御使が夢に現われました。 御使がヨセフに言うのを “彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。”(マタイによる福音書 1:20) しました。 言葉ですべて表現することができない成肉神の神秘が一番単純な言葉でしかし一番適切な方法に表現されました。 聖霊に孕胎されるというお話を理解することができる人は誰もいないです。 これは人間の理解の範囲の外の仕事です。 ただし聖霊に孕胎されたということは全能な神様の能力になったという事実を示すこととして信仰だけでこの事実を受けて差し上げることができます。 引き継いで御使が言うのを “彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」”(マタイによる福音書 1:20,21) しました。
誰でも御使が伝えたこのメッセージの真正な意味を悟るようになれば神様の驚くべきな愛に感激しなければなりません。 イエス様の誕生は人生のための神様の美しくて驚くべきな愛のもの語りです。 神様が罪人を救いしようとイエス様をこの世の中に行かせたのです。 アダムの犯罪でアダムの子孫は例外なしに罪人で生まれるようになります。 罪人は聖なる義のある神様の位に進むことができないし地獄の刑罰を免れることができないです。 ところで罪のない神様のイエス様が罪人の罪を代わりに担当して十字架に釘付けられる事ができなくたまらなかったです。 神様の公義と愛が皆充足されたのです。 そして誰でもイエス様を信じれば罪の赦しを受けて救いを受けるようになります。 イエス様はとがと罪で死んだ人生をいかすために罪人の代わりにあがないお供えになろうとこの世の中へいらっしゃったのです。

第四、御使が牧者に伝えてくれたメッセージです。
ベッドレヘム近く野原で牧者が夜に羊の群れを飼いをしながら守っていました。 忽然と御使が彼らのそばに立って言うのを “御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである」。”(ルカによる福音書 2:10～12) しました。 引き継いで現われたその御使とともに讃尿するのを “「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」”(ルカによる福音書 2:14) しました。 それからは天軍と御使が消えました。
イエスキリストの誕生と係わって御使が神様の送られてサガリャに、マリアに、ヨセフに、牧者に現われて伝えてくれたメッセージはイエスキリストを信じて救い得る者のためなのです。 同時にそのメッセージはイエスキリストを信じて救い得た者が実践することと享受することが何やら知らせてくれています。
第一、御使がサガリャに伝えたメッセージの成就で生まれた洗礼ヨハネは聖霊で充満してイエス様を証言する任務を遂行しました。
聖霊様は今日すべての聖徒に臨んでイエス様を伝える任務を遂行するようになさいます。 洗礼ヨハネはイエスキリストの十字架事件の以前に活動した人でした。 イエス様の十字架での死と墓から復活に対しては分からなかったです。 私たちはイエスキリストの十字架事件と復活の以後に暮しています。 だから私たちは熱情をつくして十字架と復活の福音を伝えなければなりません。
第二、ガブリエル御使がマリアに言うのを “神様のすべてのお話は不可能な事がない。” と告げました。
マリアは御使に “私は主のしもべです。神様のお話どおり私に成り立つように願います。” しました。 “神様のすべてのお話は不可能な事がない。 私は主のしもべです。 神様のお話どおり私に成り立つように願います。” というお話が私たちの信仰生活にいつも適用されなければなりません。
第三、ガブリエル御使がヨセフに言うのを “ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである” しました。
ヨセフはそのメッセージどおり信じて完全に順従しました。 私たちも予言者と使徒を通じて記録された聖書お話をそのまま信じて完全に従順しなければなりません。
第四、天軍と御使が牧者に言うのを “すると主の御使が現れ、主の栄光が彼らをめぐり照したので、彼らは非常に恐れた。 御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。 きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである」。 するとたちまち、おびただしい天の軍勢が現れ、御使と一緒になって神をさんびして言った、「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」” としました。

主イエスキリストが世の中へいらっしゃったという消息よりもっと大きい喜びの良い消息はないです。 この消息によって聖徒の皆さんは神様に光栄を帰しながら暮すことができるようになったし また神様と和睦になるによって平和を享受するようになったからこのような恩寵を積極的に享受するように願いします。